

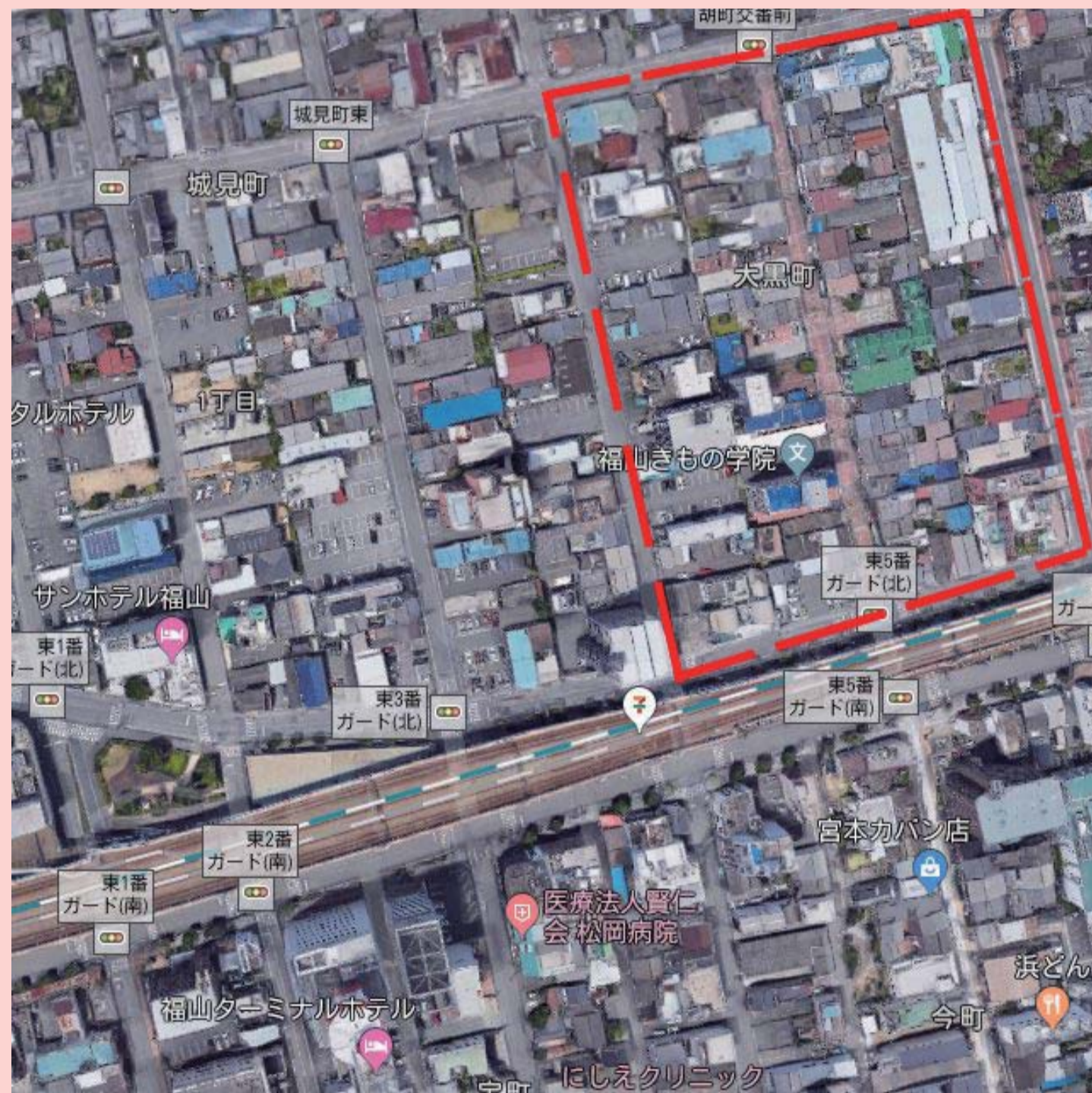
レンガウォーク ~ Daikoku~

設計趣旨

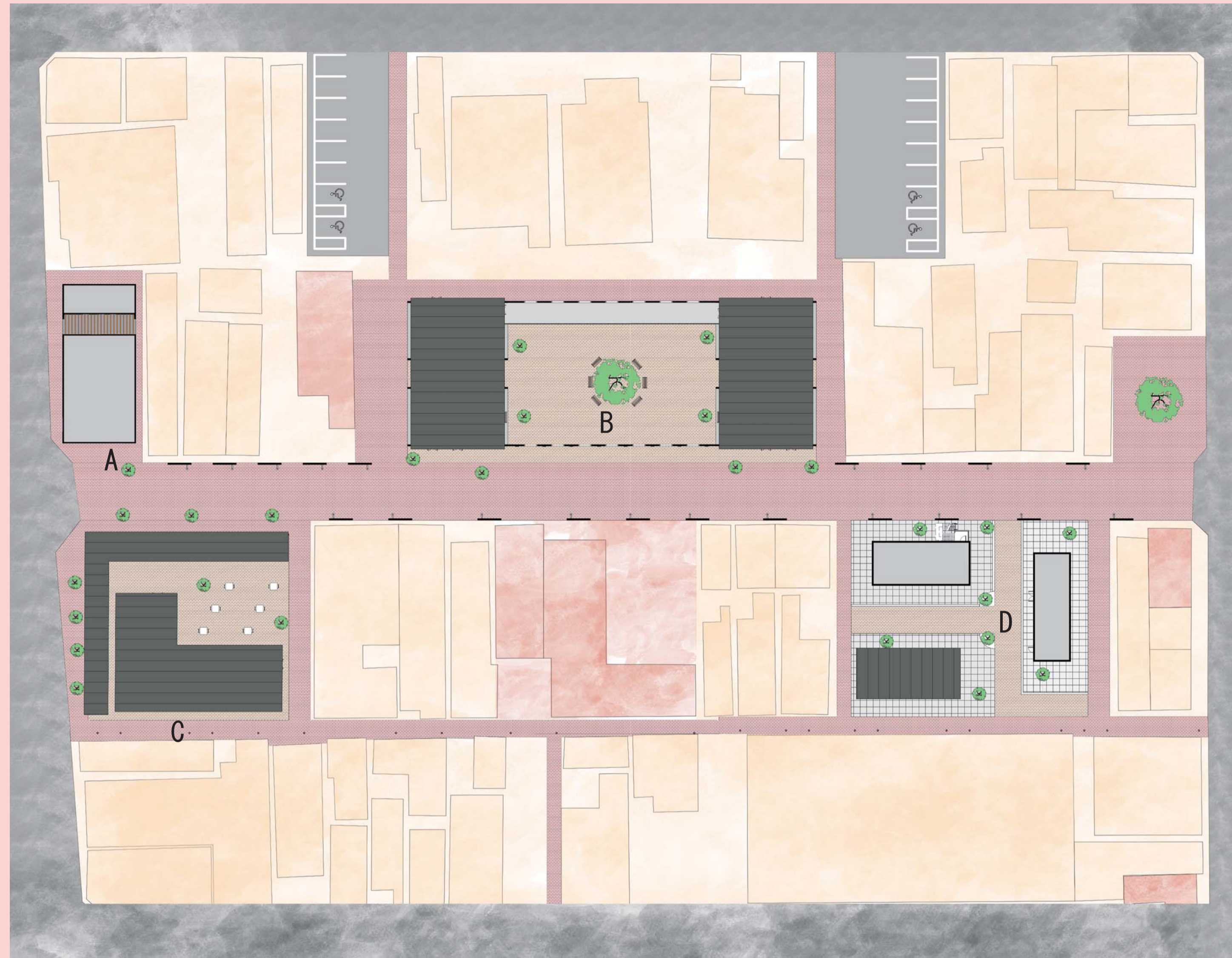
福山駅の周辺にある商店街は、ほとんどが南側にあるがこの大黒町商店街だけは駅から北側に位置する。

昭和54年に「大黒町商店街振興組合」が設立されてから赤レンガを使った町づくりが始まった。中央通りにはレンガを敷き詰められており、いくつかの建物や敷地にもレンガがつかわれている。しかし、この商店街は、福山駅から北側の位置にあり、他の商店街との間に山陽本線があるため、孤立していると考えた。

今回の計画では、中央通りに敷地められたレンガを新しくして、裏道にも赤レンガを使い歩行空間を整備して、地域住民を呼び込んでいく。



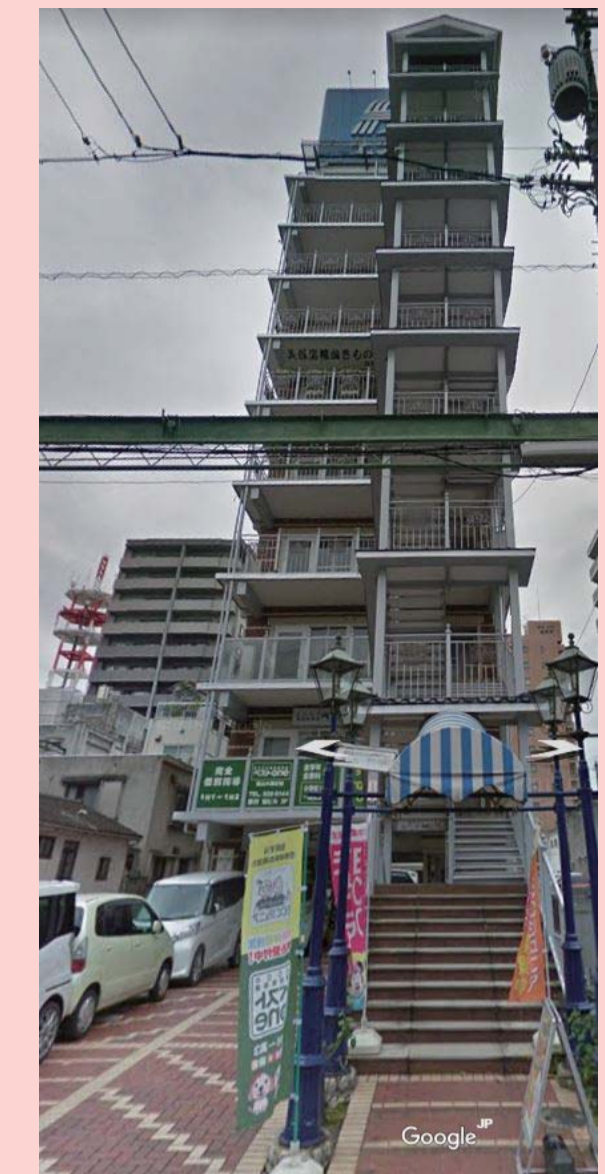
計画敷地



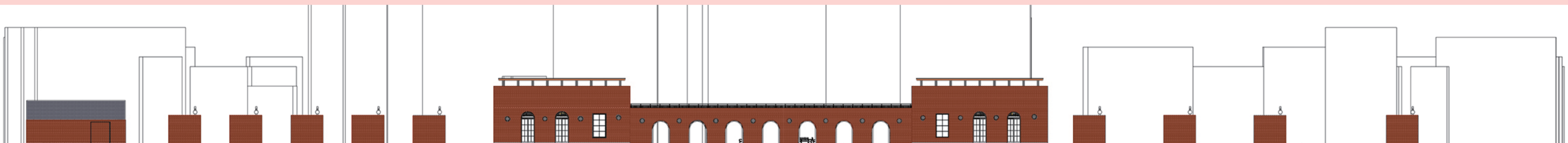
配置図兼全体図 S=1/300

計画方針

1. 中央通りだけでなく、裏道を含めてエリア全体にレンガを敷く。
2. レンガ通りは、南北に150m程で短いため、回遊性を加えて歩き回る空間をつくる。
3. 駐車場は、敷地の東西に移して中央通りは歩行者空間とする。
4. 使われなくなったレンガ以外の建物をレンガ造、又はRC造でレンガ張りの建物にまとめる。
5. 中央通りにある立体駐車場は、新たに広場を含んだ複合施設として立ち寄った人たちのための休憩スペースとする。



- A, 駐輪場・共用トイレ
- B, 複合施設（雑貨店・フラワーショップ
アートギャラリー
共用トイレ）
- C, レストラン
- D, 集合住宅・食堂



西側立面図 S=1/200